

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果

【学校】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	当初公表日(H27診断時)時点 構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	地震に対する安全性	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	鳥取市立河原第一小学校校舎1、2	鳥取県鳥取市河原町渡一木179番地1	小学校	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.07$ $C_{TU} \cdot S_D=0.76$	Ⅲ			耐震改修済

【体育館（一般公共の用に供されるもの）】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	地震に対する安全性	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	鳥取県立産業体育館	鳥取県鳥取市天神町50番地2	体育館(一般公共の用に供されるもの)	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{S0}=1.08$ $C_T \cdot S_D=0.82$	Ⅲ			
2	鳥取市民体育館	鳥取県鳥取市吉成3丁目1番1号	体育館(一般公共の用に供されるもの)	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=0.46$ $C_{TU} \cdot S_D=0.09$	I			除却済

【百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	地震に対する安全性	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	アムズ鳥取店	鳥取県鳥取市行徳1丁目155番地	物販店	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.16$ $q=0.64$	I			建替え済
2	トスク本店	鳥取県鳥取市行徳1丁目103番地	マーケット	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s=0.31$ $q=1.22$	Ⅱ			除却済
3	鳥取大丸	鳥取県鳥取市今町2丁目151番地	百貨店	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.02$ $C_{TU} \cdot S_D=0.63$	Ⅲ			耐震改修済

【ホテル・旅館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	地震に対する安全性	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	アパホテル鳥取駅前	鳥取県鳥取市富安2丁目138番地2	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{S0}=1.03$ $C_{TU} \cdot S_D=0.37$	Ⅲ			
2	ホテルニューオータニ鳥取	鳥取県鳥取市今町2丁目153番地	ホテル	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{S0}=0.68$ $C_{TU} \cdot S_D=0.33$	Ⅱ			耐震改修済

【博物館、美術館、図書館】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	地震に対する安全性	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	鳥取県立博物館	鳥取県鳥取市東町2丁目124番地	博物館	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=0.50$ $C_{TU} \cdot S_D=0.30$	Ⅱ	耐震改修	検討中	

【保険所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	地震に対する安全性	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	鳥取市役所本庁舎	鳥取県鳥取市尚徳町116番地	庁舎	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=0.38$ $C_{TU} \cdot S_D=0.23$	I			除却済

【病院、診療所】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	地震に対する安全性	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	鳥取県立中央病院	鳥取県鳥取市江津730番地	病院	(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0}=1.11$ $C_{TU} \cdot S_D=0.56$	Ⅲ			建替え済

…色塗り部分は、H27年診断時に危険性が低かった建築物を示す。

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	Ⅱ	Ⅲ
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{S0} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{S0}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{S0} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{S0}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版) 鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{S0} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{S0}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$

- Ⅰ. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- Ⅱ. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- Ⅲ. 地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※) 震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

(※) 特記無い限り、 $Z=1.0$ 、 $G=1.0$ 、 $U=1.0$ 、 $R_t=1.0$